

# 「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットワーク通信

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

2022(令和4)年9月25日／緊急特別号

向日葵はわが街のシンボル

風早北部地域ふるさと協議会 編

## 大型台風の接近・上陸後はだいたい 「停電」が発生・生活困窮に陥る 私たち柏市にもいずれは襲ってくる この被害を少しでも最小とするために・・・

過日発生した台風14号では、各地で長時間の停電が発生し、市民生活の困窮(二次災害の発生)が大きな問題になりました。その原因は、大型台風でこれまでに経験のない強風により、電柱や送電線が倒壊・断線、落雷での送電設備の損壊、これらが台風が通過した場所で次々に起こることで、停電が広範囲で発生、その復旧作業に時間を要し、結果、長時間、或いは長期間での停電が継続しました。

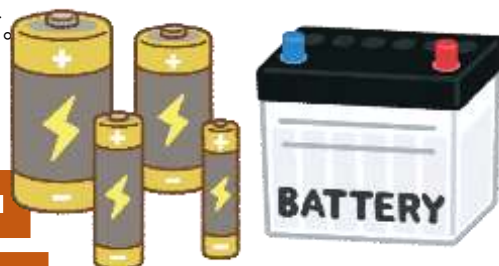
暴風雨の中真っ暗な生活を強いられる、  
数日間も電気のない生活を送ることにつき  
想像してみてください



停電による**テレビ視聴が出来ないことで、貴重な災害情報源も一つ無くなってしまいます**。テレビが映らないことで、特に独居の高齢者には心細い状態を経験することになります。暗がりの生活を強いられることも同様です。私たちは、長時間の停電を想定し、それによって生じる生活の困窮を最小限にしましょう。具体的には以下のことを予め用意しておくことが重要です。

自前の

## 電源を確保しましょう



- 携帯電話やタブレット、パソコン用のバッテリー(充電器)を複数台用意して、日頃から充電をしておきましょう
- 携帯ラジオ用の乾電池も十分な量を備蓄しておきましょう
- 地域団体でも発電機を共有備品として購入しましょう
- ふるさと協議会にも携帯ガスボンベを燃料とする発電機があります
- 柏市にも災害用充電器が用意されていますので、自主避難所が開設される「沼南近隣センター」への早めの避難を考えましょう
- お車を買替える際は、EV車・電源保有車の購入も是非考えましょう

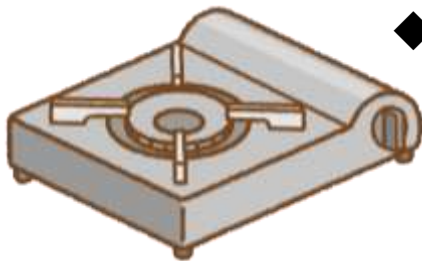
停電で困るのは情報源（テレビ・ラジオ・インターネットなど）を失うだけではありません。

## 暖を取るのはエアコンやファンヒーター？ 全て電気がないと役に立ちませんねえ

★灯油式ストーブも肝心の灯油の備蓄がないとだめです

# 「暖（だん）」をとるためには？

- ◆ 衣類の重ね着や毛布を十分に用意する
- ◆ 寝袋と暖房のある車両での避難（そのためには燃料のガソリンのことも常に頭に入れておきましょう）
- ◆ 車両での避難生活では、簡易テントがあればもっとスペースにゆとりが生まれます
- ◆ 食べ物で暖を取ることも重要ですので、ガス供給もままならないことを想定し、ガスコンロとカセット式ガスボンベを数多く備えましょう



- ◆ 地域団体による避難所や公園などスペースのある場所を利用した炊き出しは、地域の人と人との「和」・「結」の象徴活動として重要です



ELECTRIC VEHICLE

